

～ 平成25年度 事業報告 ～

急速な少子高齢化の進行や人口減少社会の到来により、単身世帯・核家族世帯が増加する中、個人の価値観の多様化や、地域社会のありようの変容等により、互いに支え合う力が弱まっています。

大牟田市においては、高い生活保護率に見られるように、経済的困窮に苦しむ人たちが多く、また、孤立死、ひきこもり、虐待、DV、いじめ等、社会的孤立を要因とする課題が複雑に絡み合い、従来の施策や制度で対応することが困難なケースが増えています。

そのような中、私たちが住み慣れたまちで安心して暮らしていくためには、公的な保健・医療・介護・福祉サービス等の充実とともに、地域住民一人ひとりの自立のための努力や、地域や家庭に応じた「支え合い」「助け合い」が必要になってきます。

全国に先駆けて超高齢社会を経験する本市では、地域住民をはじめ、地域組織やボランティア、様々な企業、関係機関・団体が英知を結集し、多職種協働での取組みが必要であると考えております。

平成25年度、本会では国の補助金等を活用しながら、居住支援協議会設立と成年後見センター開設を念頭に、様々な事業を展開いたしました。また住民参加型福祉サービスの充実をはじめ、ふれあいサロン活動のように、今後の生活困窮者対策のための生活支援事業に積極的に取り組みました。

本会は、住民主体を活動の基本とし、地域包括ケアシステム実現のために「地域の推進役」としての機能を充実しつつ、行政とのパートナーシップのもと、創造力と行動力、コーディネイト力を発揮しながら、誰もが安心して暮らせる地域社会づくりを目指していきます。

上記の状況を踏まえ、平成25年度事業は第2次地域福祉実践計画の3つの活動指針に沿って報告いたします。

活動指針1 「つながり、支えあいのある“あたたかい地域”を実現します！」

校区社協会長連絡協議会や民生委員・児童委員協議会と協働し、福祉委員による要援護者の見守り・訪問活動を各校区で実施していますが、今後は、市全域で福祉委員制度の充実強化を図っていきます。ふれあいサロン活動については、実践計画の目標値を超えたものの、更なるサロン活動の充実に向けて、課題把握に努めています。

子育て支援においては、くぬぎ保育所が民間移譲されてから2年目になりますが、入所児100名を到達することができました。さらに市受託事業である学童保育所・ファミリーサポートセンター運営事業においても、前年度実績は大幅増となりました。

活動指針2 「小さな声にも応える福祉サービスを提供し普及に努めます！」

おおむたキャロットサービス（住民参加型福祉サービス）は、年間活動件数も昨年度と比較すると大幅増となり、今後は介護保険制度改革改正を念頭に、協力会員・利用会員の登録の増加を目指し、大牟田特有のインフォーマルサービスとして更なる拡充を目指します。

介護保険事業等については、特に小規模デイサービス（ふれあい処えい）の事業量の伸びが顕著となりました。総合相談事業については、生活資金等貸付事業や日常生活自立支援事業に取り組むとともに、平成25年度は、成年後見センター開設に向けての準備のための事業に取り組みました。また、広報についても新たにフェイスブックを開設するなどの情報提供を行いました。

活動指針3 「誰もがまちづくりに参加できる活動をすすめます！」

平成25年度は、福岡県総合防災訓練が実施されたことから、災害ボランティアセンターの設置がスムーズにできるよう、事前に災害ボランティアセンター養成講座で学び、訓練当日は、サテライト型の災害ボランティアセンターの設置訓練を行いました。また、福祉入門講座やセラピューティック・ケア養成講座、市民後見人実践講座などの各種養成講座や第5回大牟田市地域福祉大会、知的障がい児・者医療支援プロジェクト、コミュニティバス運行支援など、多職種協働で様々な事業に取り組みました。共同募金運動では、新たに「寄付金付き商品の企画」と「募金百貨店プロジェクト」に取組むとともに、「赤い羽根自動販売機」の設置に力を注ぎました。その結果、平成25年度の共同募金は、前年度実績を上回ることができました。

【活動指針1】つながり、支え合いのある“あたたかい地域”を実現します！

(1) 校区社協活動への支援

①校区社協会長会の先進地視察研修

校区社協活動において先進的な活動事例を視察し、他市町村の活動内容やネットワーク形成等について見聞を深めることで、地域福祉活動の充実を図ることを目的に実施した。

今回の研修先は、糸島市の中でも先進的な取り組みを行っている長糸校区社協にお願いした。「ひとり暮らし高齢者の見守りネットワーク」「安心ネット長糸」（要援護者の見守り）など区長、校区社協の役員さんをはじめ、民生児童委員、福祉委員、福祉協力員、見守り協力者などががっちりとスクラムを組み、手厚い見守りが行われている点などについて参加者は熱心に聞き入っていた。質疑応答では、民生委員や福祉委員などによる小地域ネットワーク活動の具体的な連携の仕方など、活発な質問や意見も出され非常に有意義な視察研修となった。

【開催日】 平成25年12月13日（金）

【研修先】 糸島市長糸校区社会福祉協議会

【内 容】 校区社協活動における住民同士の連携について

【参加者】 19人



長糸公民館での視察研修会の様子

②合同研修会の開催

地域リーダーである校区社会福祉協議会、民生委員・児童委員協議会、町内公民館連絡協議会・まちづくり協議会の各会長が、地域福祉活動の推進方法等を研修・研鑽することを目的に合同研修会を開催した。

【開催日】 平成25年6月27日（木）

【会 場】 おおむたハイツ2F 芙蓉の間

【内 容】 演題：まちづくりに必要な住民同士の支え合い
～東京都立川市大山自治会の取組みから～
(講師) 大山自治会 会長 佐藤 良子さん

【参加者】 107人



地域リーダー合同研修会の様子

(2) 小地域ネットワーク活動の充実

地域における小地域ネットワーク活動を活性化していくために、平成18年度に福祉委員制度が発足した。各校区の世帯数に応じ、概ね100～150世帯に1人の割合で配置された福祉委員が、見守り・訪問・支援活動を行っている。

平成25年7月4日～6日にかけて、福祉委員の役割や地域福祉活動の意義等について総合福祉センターで「福祉委員研修会」を開催した。また、各校区において、小地域ネットワーク活動における福祉委員と民生委員・児童委員等との連携等をテーマ

に実践活動報告会や意見交換会等を下記のとおり実施した。

また、平成25年度には、「福祉委員活動の手引き」を2,000部作成し、校区社協を通じ、福祉委員へ配布した。

(新任福祉委員研修会実施状況)

実施日	場所	参加者数	研修内容及び実践報告
7月 4日	総合福祉センター(大会議室)	16人	■福祉委員の活動とは? 手引きより説明 ■実践発表 ・天の原校区 吉田 久年氏 ・白川校区 今崎シャチ子氏
7月 5日	総合福祉センター(研修室)	8人	■福祉委員の活動とは? 手引きより説明 ■実践発表 ・手鏡校区 砥上 正昭氏 ・天の原校区 一瀬 裕樹氏
7月 6日	総合福祉センター(大会議室)	7人	■福祉委員の活動とは? 手引きより説明 ■実践発表 ・三池校区 吉田 紀子氏 ・中友校区 福永 千春氏

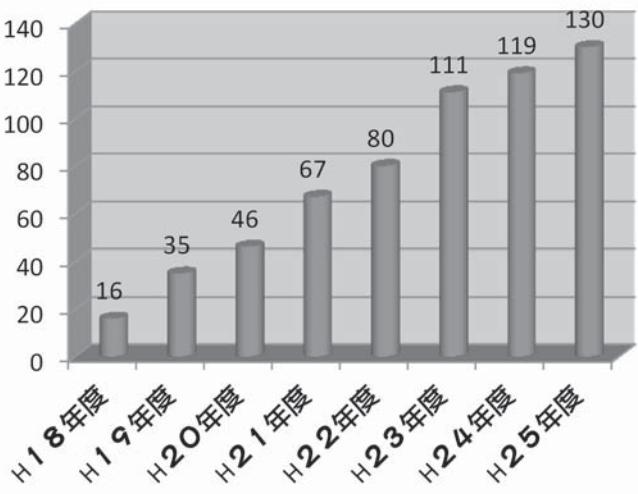


(3) ふれあいサロン活動の充実

現在、サロン拠点は、市内に130カ所となった。サロンは、地域で高齢者や障がい児・者、子育て中の方が、生きがいと元気に暮らすきっかけづくりを見つける、地域の人同士のつながりを深める自主活動の場である。

サロンでの交流においての“ふれあいや生きがいづくり”が、高齢者等の自助努力を引き出し、介護予防等の効果を上げることが経験則として実証されており、高齢者の交流の場を確保することは地域社会との「つながり」をつくり、「孤立」を防ぐことに役立つと考えている。また、高齢者等が何らかの形で地域や近隣の人との接点をもつことによりふれあいが生まれ、さらには周囲が高齢者のニーズを把握することができ、見守り活動・安否確認など「支え合い」を行う端緒となると考えている。

ふれあいサロン活動拠点カ所数の推移



(4) 子育て支援事業

①子育てきらりフェスタの開催

子育て支援の一環として、子育て中の親子が楽しめるイベントを実施。家族で楽しむコンサートやプレーパーク、また、母親たちの特技や意見を取り入れ、共働でのイベントも実施した。

■子育てきらりフェスタ Vol.14 実施報告

【日 時】 平成 25 年 7 月 13 日（土）

【会 場】 大牟田市総合福祉センター

【内 容】 <和 室> 講師：ザ・ヒーリング（音楽）

猿渡 純子さん（ストレッチ）

ピアノと健康運動士によるママのための

リラックスストレッチ

ランチタイムコンサート（ピアノ・バイオリン）

<大会議室> 協力：little mama

スイーツデコ（実費・体験は無料）・マジパン体験・フリーマーケット

【参加者】 全体受付：約 150 人（大人・子ども）、託児受付：33 人

■子育てきらりフェスタ Vol.15 は、社協“絆”フェスティバルと同時開催

■子育てきらりフェスタ Vol.16 実施報告

【日 時】 平成 26 年 1 月 21 日（火）

【会 場】 大牟田市総合福祉センター

【内 容】 <中会議室> 講師：上野 恵美さん

（アレルギー対応ケーキ工房ハートフルスプーン代表）

「おいしく安全にアレルギー代替食」

簡単なおやつ作り

<和室> 講師：黒田 由香里さん

ママのための骨盤エクササイズ

<大会議室> 協力：little mama

スイーツデコ・プチフリーマーケット・雑貨販売

【参加者】 全体受付：約 70 人（大人・子ども）、託児受付：21 人



ランチタイムコンサートの様子



スイーツデコ体験教室の様子



簡単なおやつ作りの様子



ママのための骨盤エクササイズの様子

②子育てサロン “マザーリーフ” 開催

子育て中のお母さん同士の情報交換の場や子どもとのふれあいの場として毎週水曜日（第5週は除く）に開催した。

■内容：読み聞かせ、体重・身長計測、お誕生会、季節の行事自由遊び等

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(人)
大人	31	28	25	29	26	26	26	24	15	15	27	19	291
子ども	41	45	32	42	38	33	37	32	21	22	42	32	417
ボランティア	4	6	4	5	3	14	3	8	5	1	8	7	68
計	76	79	61	76	67	73	66	64	41	38	77	58	776

※参加者数は、前年比 70.8%（前年度 1,096 名）



③チャイルドシート貸出事業

（貸出状況：保有台数：チャイルドシート26台、ジュニアシート9台）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	26	17	11	33	23	20	17	17	27	16	7	14	228

※件数は、前年比 69.9%（前年度 326 件）

④情報掲示板「ベビクル」の状況

使わなくなった育児用品をゆすりたい人から必要な人に渡すための情報を、ホームページを通して情報提供している。3月末までの取扱い件数は、14 件。

主な育児用品は、ベビーシート、ベビーカー、チャイルドシート、クーハン等。

（5）ファミリー・サポート・センター事業の実施（市受託事業）

①ファミリー・サポート・センター会員数

区分	平成24年度末	平成25年度登録	平成25年度退会	平成26年3月末	今年度増減
利用会員	719人	63人	94人	688人	△31
協力会員	128人	6人	59人	75人	△53
相互会員	93人	5人	23人	75人	△18
合計	940人	74人	176人	838人	△102

※協力会員および相互会員に対して、会員登録継続の意思確認を行った結果、現在活動でない会員から退会希望の回答があり、会員数が大きく減少した。

②ファミリー・サポート・センター活動状況

活動内容	平成25年度	平成24年度
	回数(回)	回数(回)
保育所・幼稚園の登園前の預かり	0	1
保育所・幼稚園の送り	5	0
保育所・幼稚園の迎え	4	1
保育所・幼稚園の帰宅後の預かり	1	3
学童の放課後の預かり	4	10
放課後児童クラブの迎え	23	2
放課後児童クラブ終了後の預かり	34	3
子どもの病気の援助	16	14
子どもの習い事等の場合の援助	168	147
保育所・学校等の休み時の援助	2	26
保育所等施設入所前の援助	0	0
保護者等の短時間・臨時の就労の場合の援助	7	8
保護者等の休職活動中の援助	1	1
保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子どもの学校行事の場合の援助	3	7
保護者等の外出の場合の援助	39	34
保護者等の病気、その他の急用の場合の援助	4	4
その他	3	7
保育所・幼稚園の登園前の預かり及び送り	0	3
保育所・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり	33	22
学校の迎え	0	2
児童クラブ登所前の預かり及び送り	31	43
児童クラブの送り	33	4
キャンセル回数	61	65
合 計	472	407

※件数は、前年比 116.0% (前年度 407 件)

③ファミリー・サポート・センター講座の開催

◆第1回 協力会員養成講座

【期 間】 平成 25 年 6 月 19 日～6 月 27 日 全 5 回 (計 10 時間)

【会 場】 フレンズピアおおむた

回	日 程	講 座 内 容	講 師	受講者数
1	6月19日	開講式 センターの仕組みについて 事例発表	アドバイザー 高宗春恵さん(協力会員)	9人
2	6月20日	子どもの世話と遊び	くぬぎ保育所・山田所長	6人
3	6月25日	子どもの救命救護講座	大牟田消防署	4人
4	6月26日	子どもの心と体の発達	保健師 藤好アヤ子さん	7人
5	6月27日	簡単クッキング 今後の活動について	食育インストラクター 堺 婦小与さん	4人

【登 錄】 相互会員登録 7人 協力会員 1人



◆第2回 協力会員養成講座

【期 間】 平成 25 年 11 月 13 日～11 月 30 日 全 5 回 (計 10 時間)

【会 場】 大牟田市総合福祉センター及びえるる

回	日 程	講 座 内 容	講 師	受講者数
1	11月13日	開講式 センターの仕組みについて 事例発表	アドバイザー 大野まゆみさん(協力会員)	7人
2	11月16日	子どもと楽しく遊ぼう (子どもの世話と遊び)	くぬぎ保育所・山田所長	4人
3	11月20日	子どもの救命救護法	大牟田消防署	9人
4	11月27日	子どもの心と発達について学 ぼう	誠修高校 多田隈清美さん	10人
5	11月30日	健康な心からだを育む、 子どもに食べさせたい料理 今後の活動について	食生活改善推進員協議会	6人

【登 錄】 協力会員 5 人

※協力会員養成講座の未受講の内容については、今後ステップアップ講座で対応することとする。

◆ステップアップ講座

【会 場】 えるる

回	日 程	講 座 内 容	講 師	受講者数
1	10月22日	コミュニケーション能力を高め よう～子育て支援者としての 関わり方～	コミュニケーション・ ラウンジ YANO 代表 矢野隆子さん	13人
2	3月 4日	気になる子どもとのかかわりを 通して	大牟田特別支援学校 教頭 所方敏彦さん	14人
3	3月20日	子どもと楽しむ遊びのレパート リーを増やそう	協力会員 光安妙子さん	8人

◆安全対策講習会

【日 程】 平成 25 年 11 月 2 日

【会 場】 えるる

【テーマ】 子どもに起こりやすい事故の予防と手当を学ぼう

【講 師】 九州看護福祉大学 山内香織さん

【受講者】 7 人

(6) 放課後児童健全育成事業(市受託事業)

①学童保育所・クラブの運営(三池・高取・中友・白川・大牟田・平原)

放課後児童対策として、昼間児童(概ね小学校1～3年生)の養育ができない家庭などの児童に対して、適切な遊びと生活の場を提供するとともに、各学童保育所においては、地域組織等と連携し様々な世代間交流事業を実施した。

(入所児童数：平成 26 年 3 月 31 日現在)

学童名	三 池	高 取	中 友	白 川	大牟田	平 原	合 計
児童数(人)	38	16	21	34	41	20	170

②大牟田市学童保育所等未整備校区における児童送迎事業

学童保育所が整備されていない上官小学校の児童（1、2年生）を対象に、上官小学校・中友学童保育所間の送迎を実施した。（平成25年9月より実施）
(利用者：1年生1人)

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用日数（日）	21	24	23	21	21	17	21	148



(7) くぬぎ保育所運営事業

「みんなが笑顔になれる保育所」を合言葉に、保育のさらなる充実に向けて日々努力を積み重ねる中、今年度は入所児童数が5月に定員（90名）に達した。

昨年から導入した田植え、味噌作り、稻刈りなどの食育を中心とした行事も定着してきた。親子で取り組む味噌作りは開催を心待ちにしていただけるようになってきている。

5歳児、4歳児が行った、ふれあい処「えいる」を含む老人福祉施設との交流は、定期的に交流することで内容が充実し園児の心の成長に大きく影響した。

園庭開放「どんぐりクラブ」（未就園児を対象とした）は、毎回参加してくれる親子もあって園児や職員との交流も充実してきた。

(平成25年度月別児童数)

(単位：人)

	0才児	1才児	2才児	3才児	4才児	5才児	合計
4月	6	8	18	19	19	18	88
5月	6	11	17	19	19	18	90
6月	7	14	17	20	20	18	96
7月	9	14	17	20	20	18	98
8月	9	12	17	20	20	18	96
9月	9	12	17	20	19	18	95
10月	10	13	17	20	19	18	97
11月	10	15	17	21	19	18	100
12月	10	15	17	21	19	18	100
1月	10	15	17	21	19	18	100
2月	10	15	16	21	19	18	99
3月	11	15	17	22	20	18	103



稲刈りの様子



卒園式でのロックソーランの様子



運動会の様子

実施日	主な事業	実施日	主な事業
4月1日	入園式	10月13日	運動会
5月17日	バス遠足（大野城いこいの森）	10月15日	稲刈り
6月20日	田植え体験	11月6日	芋ほり
7月13日	親子で味噌つくり体験	12月6日	世代間交流餅つき
7月27日	お祭りごっこ、ちびっこ総踊り参加	12月21日	クリスマス会
8月3~4日	年長お泊り保育	2月3日	節分、豆まき
8月31日	親子ふれあいバザー	3月21日	卒園式

※ふれあい処「えいる」との交流（年長児）

※老人福祉施設 恵愛の里、いろは、米の山デイサービス訪問

※学童保育所との交流

※園庭開放 「どんぐりクラブ」 9回開催

平成25年度 どんぐりクラブ（園庭開放） 参加者数

5月	6月	7月	8月	9月	11月	12月	2月	3月
10組	5組	11組	4組	8組	4組	8組	4組	11組

5月 リズムあそび

6月 プールあそび

7月 七夕まつり

8月 プールあそび

9月 オープン保育

11月 ふれあい動物園

12月 もちつき

2月 リズムあそび

3月 おひなまつり



(8) 多職種・多分野協働のまちづくり

平成 25 年度は、福祉団体・行政等と多職種協働で様々な事業を実施した。

【多職種・多分野協働の主な事業】

- 第5回大牟田市地域福祉大会
- 第10回徘徊SOSネットワーク模擬訓練
- 第35回パラリンピック＆サンアビまつり
- 第4回共同募金杯校区対抗グラウンドゴルフ大会＆社協“絆”フェスティバル
- 障害総合福祉ボランティア養成講座
- 成年後見活用講座
- もの忘れ予防・相談検診
- 認知症絵本教室
- 知的障がい児・者医療支援プロジェクト
- 認知症高齢者等徘徊搜索活動
- 東日本大震災復興支援～絆～プロジェクトおおむた
- 第1回防災運動会
- 三池サンキューバス運行支援
- 自閉症1dayイベント
- 地域ふれあいフォーラム実行委員会

ほか



第1回防災運動会の様子



福岡県防災訓練
災害ボランティアセンター設置訓練



自閉症1dayイベントの様子



徘徊SOSネットワーク模擬訓練キャンペーン

【活動指針2】小さな声にも応える福祉サービスを提供し、普及に努めます！

(1) おおむたキャロットサービス(住民参加型在宅福祉サービス)

①おおむたキャロットサービスの充実

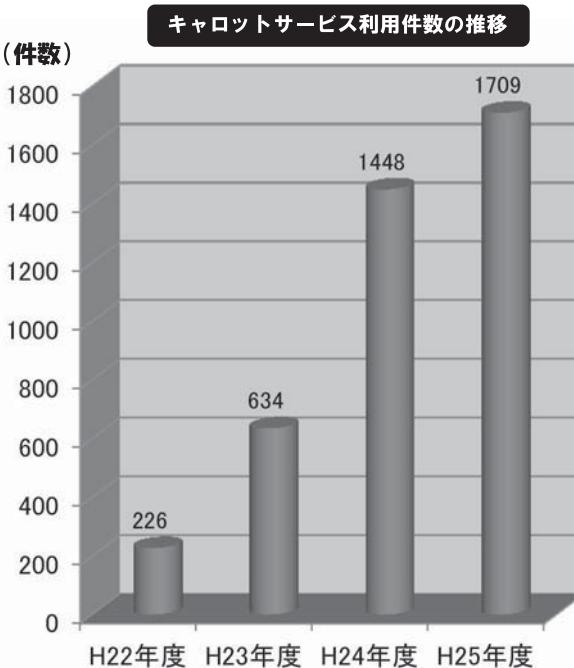
日常生活において、公的サービスでは対応できない生活課題を抱えている一人暮らし高齢者等に対し、サポーター登録した協力会員が生活支援サービスを行った。

(会員数)

	23年度	24年度	25年度
利用会員	84人	87人	142人
協力会員	26人	36人	43人
合 計	110人	123人	185人



キャロットサービス活動（話し相手）



(活動内容状況：件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
家事支援	掃除・洗濯	67	106	85	118	96	128	96	64	72	117	86	86	1,121
	食事作り	2	4	14	5	4	20	14	16	11	13	7	4	114
買い物	5	10	4	24	14	2	3	7	2	7	3	1	82	
薬取り	2	1	3	2	1	0	0	1	0	0	2	1	13	
観覧・外出の付添い	11	10	13	11	2	11	8	10	11	9	6	2	104	
見守り	18	6	1	1	0	2	13	1	0	0	0	0	42	
話し相手	3	2	5	4	1	1	2	6	3	4	1	0	32	
草取り	17	10	15	13	8	11	15	7	4	6	4	5	115	
ゴミ出し	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
その他	修繕等	14	9	9	2	3	0	0	1	0	1	0	0	39
	その他	4	2	6	6	5	4	2	0	0	2	0	2	33
	産前産後	0	0	0	4	7	1	0	0	0	0	0	0	12
合 計	145	160	155	190	141	180	153	113	103	159	109	101	1,709	

②「夏・ふれ愛・子どもふくし塾～キャロット応援隊員になろう～」実施

子どもたちが将来の地域福祉の担い手となり、高齢者を支える存在となるよう、福祉教育の一環として、“高齢者を知る”ことを学んだ。（参加小学生：延べ 65 人）

回	日 時	ふくし塾 内容	講 師	受講者数
1	8月 8日 午前 10時～12時	“助け合う”って何だろう ～東日本大震災のお話～	大牟田市社会福祉協議会 彌永 恵理	12人
2	8月 9日 午前 10時～12時	60年後の自分を想像してみよう ～高齢者の気持ちを考える（からだ編）～	大牟田市社会福祉協議会 内野 周一 西山 綾	15人
3	8月 12日 午前 10時～12時	もしも認知症になったら? ～高齢者の気持ちを考える（こころ編）～	大牟田市長寿社会推進課 梅本 政隆 さん	11人
4	8月 19日 ～ 8月 23日	高齢者とふれあってみよう ～地域のサロン&キャロットサービス体験～ ・キャロットサービス同行 ・サロン3カ所 ・えいる、絆けんこう教室	8/19 キャロットサービス 絆けんこう教室 8/20 サロン手録 わくわくサロン 8/21 えいる 8/22 いきいきサロン	15人
5	8月 28日 午前 10時～午後 1時	きみはキャロット応援隊員第1号! ～自分の気持ちをまとめる・伝える・修了証授与～ 夏しかできない!そーめん流しを楽しもう ～小さい子から高齢者まで、みんな一緒～	大牟田市長寿社会推進課 梅本 政隆 さん 龍湖瀬公民館長	12人



第2回ふくし塾



第4回ふくし塾



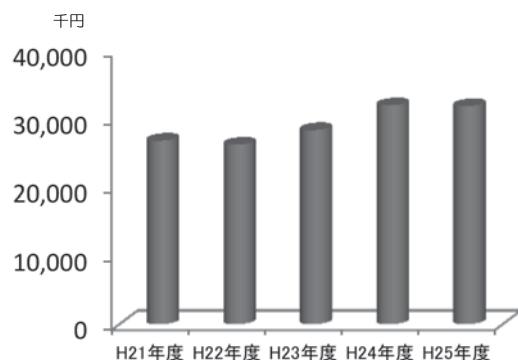
第5回ふくし塾

(2) 高齢者福祉対策の推進

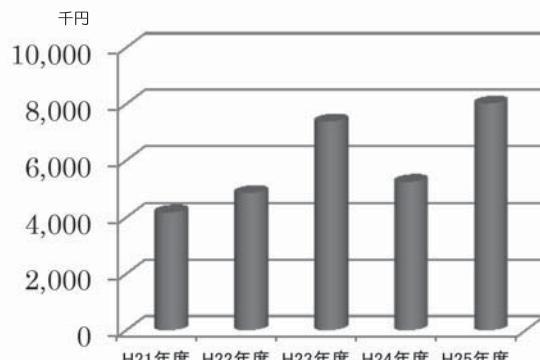
①介護保険事業の充実

訪問介護（ホームヘルパー派遣）、訪問入浴（入浴車による訪問入浴）、居宅介護（ケアプランの作成）の3事業を実施し、要支援、要介護者の在宅生活を支援した。

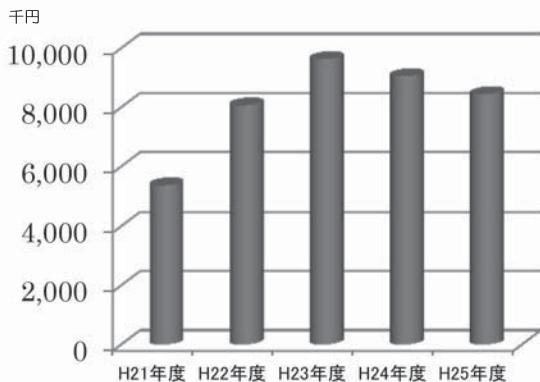
訪問介護事業（ホームヘルプ）実績



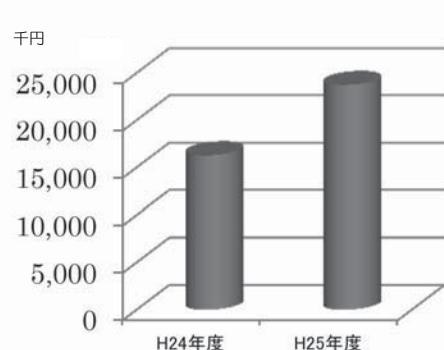
訪問入浴事業（入浴サービス）実績



居宅介護支援事業（ケアプラン）実績



通所介護事業（ふれあい処えいる）実績



【平成25年度介護保険事業の総括】

- 訪問介護事業では前年度実績より、事業件数については30件増であるが、収入面では37千円減となった。前年度実績と比較すると、0.1%減となった。
 - 訪問入浴事業では前年度実績より2,784千円増となり、事業件数も213件増となった。これは他事業所が入浴事業を撤退したことによる利用者受入れが大きな要因となった。
 - 居宅介護支援事業では前年度実績より591千円減、事業件数は55件減となった。
 - 通所介護（えいる）事業では、前年度実績より7,447千円増となり、延利用件数も778件増となった。
- ※4事業合計で、前年度実績と比較すると9,603千円収入増という結果となった。

(各年度事業実績)

事 業 名		21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度
訪問介護 サービス	収入(円)	26,843,182	26,248,165	28,396,728	32,027,405	31,990,254
	件数(件)	7,637	7,411	8,239	9,683	9,713
訪問入浴 サービス	収入(円)	4,173,859	4,837,532	7,374,639	5,232,207	8,016,180
	件数(件)	321	374	549	411	624
居宅介護 支援事業	収入(円)	5,359,500	8,063,700	9,627,140	9,050,200	8,459,620
	件数(件)	586	652	810	847	792
通所介護 (えいる)	収入(円)	—	—	377,423	16,283,080	23,730,030
	件数(件)	—	—	36	1,763	2,541
総合計	収入(円)	36,376,541	39,149,397	45,775,930	62,592,892	72,196,084
	件数(件)	8,544	8,437	9,634	12,704	13,670

②介護予防・相談センターの運営（市受託事業）

中央地区地域包括支援センターのサブセンターとして、平原・上官校区に加え白川・大牟田・大正・中友校区を担当し、介護認定により要支援と認定された高齢者及び二次予防事業対象の高齢者（特定高齢者）に対して、介護予防プラン等の作成や訪問を行うことにより高齢者の心身の健康保持、生活の安定のために必要な支援を関係機関、サービス実施事業者等と連携して実施した。

また、介護予防の普及・啓発を目的とした介護予防啓発教室を6校区それぞれで実施し、大牟田市が行う介護予防事業につなぐことができた。

(各年度事業実績)

事業名		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
介護予防・相談センター	収入(円)	3,511,080	3,442,720	3,779,360	4,853,480	5,982,120
	件数	701	660	762	704	956

③日常生活自立支援事業

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不十分なため、日常生活に困っている人たちに対して生活支援員を派遣し、自立した生活ができるよう福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理等を行った。

また、生活支援員のスキルアップと活動意欲の向上を目的にフォローアップ研修を実施した。

開催日：平成26年3月18日（火）

場所：総合福祉センター中会議室

内容：「あなたも狙われている悪徳商法のあれこれ」

講師：大牟田市 市民生活課 石丸 美穂子さん

参加者：12人

(実施状況)

【相談件数】29件 【利用者数】44人 【利用件数】727件 (単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談受付	2	1	1	3	2	6	3	3	2	4	1	1	29
利用件数	55	66	55	62	64	60	62	65	65	57	60	56	727

④「在宅介護者の会」活動支援

在宅介護者に対する情報提供、相互交流を目的とする「在宅介護者の会」の事務局を担い、様々な活動支援を行った。

■大牟田市在宅介護者の会「げんきかい」…会員数21人

【目的】在宅介護者が本音で語り合い、交流することを通じて、「介護」にかかる課題を解決していくことを目的に実施。

【定例会】毎月第4水曜日に実施。

※介護体験を語るおしゃべり会を中心に、学習会、カラオケ大会などを実施。また、年2回、日帰り温泉旅行などリフレッシュ事業にも取り組んだ。

【その他】会員増のため、社協だより「きらり」での広報を行うとともに、在宅介護者の声を発信するため、大牟田市地域包括支援センター運営協議会に委員として出席している。

⑤車椅子貸出事業

在宅の高齢者・障がい（児）者等に対して、日常生活の便宜と介護者の負担軽減を図るため、延128人に無料で車椅子を貸し出した。

(貸出実績)

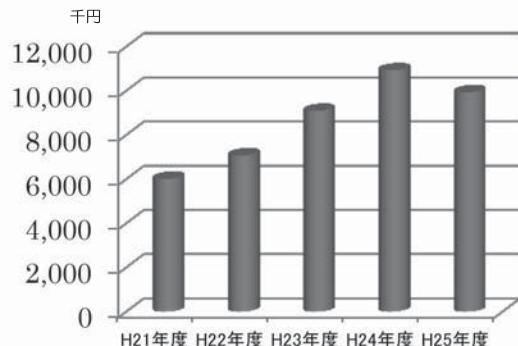
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	12	5	9	14	10	9	13	13	15	5	14	9	128

(3) 障がい児・者福祉対策の推進

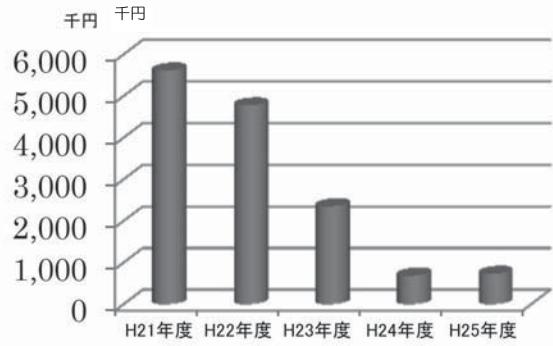
①障害者自立支援サービス事業

障害程度区分認定を受けた在宅の障がい者に対して、居宅サービス（ホームヘルパー派遣）、移動支援（ガイドヘルパー派遣）、訪問入浴（入浴車による訪問入浴）、の3事業を実施し、在宅生活を支援した。

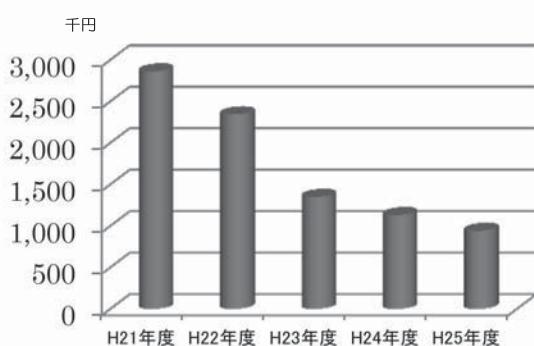
障害者居宅サービス事業（ホームヘルプ）実績



障害者移動支援事業（ガイドヘルプ）実績



障害者訪問入浴サービス事業実績



【平成25年度障害者

自立支援サービス事業の総括】

- 居宅サービス事業では前年度実績より1,046千円減、事業件数については、258件の減となった。これは、利用者が65歳になったため、介護保険に移行したことなどが要因である。
- 移動支援事業では前年度実績より30千円の増。
- 訪問入浴サービス事業では前年度実績より190千円減、事業件数も20件減となった。これは、利用者が65歳になったため、介護保険に移行したことが要因である。

※3事業合計として、前年度実績と比較すると1,206千円収入減という結果となった。

(各年度事業実績)

事 業 名		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
障害者居宅 サービス事業	収入(円)	6,017,141	7,076,318	9,091,037	10,927,730	9,881,849
	件数(件)	2,106	2,092	2,493	2,726	2,468
障害者移動 支援事業	収入(円)	5,611,926	4,774,662	2,351,593	689,370	719,234
	件数(件)	1,374	1,261	687	355	368
障害者入浴 サービス事業	収入(円)	2,861,875	2,343,650	1,349,000	1,130,500	940,500
	件数(件)	327	262	142	119	99
総合計	収入(円)	14,490,942	14,194,630	12,791,630	12,747,600	11,541,583
	件数(件)	3,807	3,615	3,322	3,200	2,935

②おもちゃの図書館“くるりん”の支援

障がいのある子どもも、ない子どもも共に遊び交流し、育ちあう場として開催。

【開催日時】毎月第4土曜日 10:00～12:00

11月より毎月第3日曜日 10:00～12:00)

③知的障がい児・者医療支援プロジェクト

平成23年2月に実施した「知的障がい児・者医療受診アンケート調査（以下、アンケート調査）」結果を受け、アンケート調査報告書及びダイジェスト版、啓発用DVD（笑顔のまちおおむた）の作成、加えて、アンケート調査結果報告会の開催など、民生委員・児童委員などの地域関係者や医療・介護関係者、保健師、養護教諭等に対して、知的障がい児・者が置かれている厳しい医療環境の実態を周知啓発することに重きをおいて、支援活動を展開してきた。活動の成果として、大牟田市障害福祉計画において、「特別支援学校における医療受診の模擬訓練の実施」が明文化されたところである。



南大牟田病院関係者への報告会

また、医師会や歯科医師会、教育委員会等にもこの実態を知らせるべく、関係づくりに努めてきた。特に、知的障がい者の歯科受診は医療受診の中でも最も多いと報告されていることから、歯科医師会主催で「障害者の生活支援につながる歯科医療」というテーマで講演会が開催されるなど、歯科医師会内でも障がい児・者対策が図られるようになった。一方で、教育委員会においては、医療受診に関しての認識の違いや教育現場で医療を取り組むことについてのスキルの未成熟等を理由に進歩がみられない状況にある。

平成25年度は、知的障がい児・者医療支援実践計画を策定し、知的障がい児・者医療支援プロジェクト（以下、プロジェクト）に3部会（医療連携部会・教育連携部会・保護者部会）を設定し、部会ごとに医療支援取組んだ。

(プロジェクト会議及び報告会の実施状況)

日 稲	会 議 名	内 容
4月 5日	医療プロジェクト会議	・予算関係報告　・医療プロジェクト実践計画 ・平成25年度医療プロジェクト計画案
5月 1日	教育委員会との意見交換会	・プロジェクトの経過報告、今後の方向性について打合せ
5月27日	医療プロジェクト会議	・教育委員会打合せ報告　・医療プロジェクト実践計画
6月24日	医療プロジェクト会議	・医療プロジェクト実践体制案について ・実践計画に伴う部会制（医療・教育・保護者）について
7月 1日	第1回保護者部会会議	・講演会の講師について
7月26日	～報告会～ 大牟田特別支援学校にて 【参加者】 市内小・中学校、特別支援学校 の特別支援に関わる教諭	(1) プロジェクト趣旨説明 (2) DVD 視聴「学校検診で出来る工夫」 (3) 保護者の声 ・松石 由美さん ・山崎 ゆかりさん
8月30日	第1回医療連携部会	・医療連携部会体制　・部会の方向性 ・大牟田看護学校における報告会について (9/21 准看護課1,2年生（約140名）対象) (10/9 看護課3年生（約50名）対象)
9月21日	～報告会～ 医師会看護専門学校にて 【参加者】 准看護課1、2年生 (約140名)	(1) プロジェクト趣旨説明 (2) DVD 視聴「笑顔のまち おおむた」 (3) 保護者の声 ・田中 理枝さん (4) 質疑応答
9月30日	第2回医療連携部会	・医療機関の情報集約の方法について ・個別の医療機関へのアプローチ方法について
10月 9日	～報告会～ 医師会看護専門学校にて 【参加者】 准看護課 3年生 (約50名)	(1) プロジェクト趣旨説明 (2) DVD 視聴「笑顔のまち おおむた」 (3) 保護者の声 ・西田 美津子さん ・増田 佳子さん (4) 質疑応答
11月19日	第3回医療連携部会	・医療機関の情報集約方法についてのアンケート調査
11月27日	教育委員会との意見交換会	・模擬訓練の実施について
12月26日	第4回医療連携部会	・役割分担について
2月 4日	～報告会～ 中友小学校にて 【参加者】 市内小・中学校の養護教諭	(1) プロジェクト趣旨説明 (2) DVD 視聴「学校検診で出来る工夫」 (3) 保護者の声 ・松石 由美さん
2月27日	～報告会～ 南大牟田病院にて 【参加者】 看護師、言語聴覚士 作業療法士 他 (約60名)	(1) プロジェクト趣旨説明 (2) DVD 視聴「笑顔のまち おおむた」 (3) 保護者の声 ・田中 理枝さん ・増田 佳子さん (4) 質疑応答

(4) 総合相談事業の推進

①福祉サービス苦情解決相談

在宅福祉サービス利用における様々な問題について、当事者間で解決できない場合「第三者委員会」でその解決を図るために設置しているが、平成25年度は相談依頼がなく、開催していない。

②行政書士による法務相談

毎月第3水曜日に行行政書士による法務相談を実施し、家庭、離婚、金銭貸借、財産

相続、事故などの相談に親身になって対応し、高度な対処法について無料弁護士相談や関係機関への橋渡しをした。平成25年度実績は、50件。

(相談件数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	10	2	6	6	0	2	4	2	0	4	8	6	50

③生活福祉資金貸付事業（県社協受託事業）

低所得者、高齢者及び障がい者等の世帯に対して、生業、住宅、災害、福祉、修学、緊急小口、離職者等の各種資金の貸付相談の受付を行い、民生委員の協力のもと、借受世帯の自立に向けた指導、支援を行った。

【相談受付件数】 353件 【貸付決定件数】 27件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談受付	20	14	21	45	20	28	45	27	35	34	30	34	353
貸付決定	0	2	2	5	1	0	1	0	3	2	3	8	27

(生活福祉資金貸付状況)

(単位:千円)

	23年度		24年度		25年度	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
生活支援費	6	2,691	0	0	1	210
住宅入居費	0	0	0	0	0	0
一時生活再建費	0	0	0	0	0	0
福 祉 費	8	9,460	3	1,820	4	367
緊 急 小 口	22	2,100	9	800	8	737
教育支援費	3	4,422	4	5,178	6	3,364
就学支度費	7	1,560	3	1,293	8	4,359
そ の 他	0	0	0	0	0	0
合 計	46	20,233	19	9,091	27	9,037

④住宅手当緊急特別措置事業（市受託事業）

住宅手当緊急特別措置事業は、離職者であって就労能力・就労意欲のある人の中で、住宅を喪失しているか、喪失するおそれのある人に対して住宅手当を支給することにより、これらの人々に住宅及び就労機会の確保に向けた支援を行うことを目的としている。

この事業を実施するに当たっては、市保護課やハローワークと連携し、「生活保護受給者等就労自立促進事業」を活用した就労支援や、必要に応じて本会が窓口である生活福祉資金貸付事業を併用しながら、当事者の支援にあたった。

【相談件数】 48件

(うち面接相談34件、電話相談14件)

【申請件数】 6件

【支給決定件数】 6件

【就職決定者数】 5件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談受付	13	1	4	5	3	1	3	3	1	3	9	2	48
貸付決定	1	0	1	1	0	0	0	1	0	0	2	0	6

⑤成年後見センター準備事業

現在、日常生活自立支援事業（判断能力が不十分な方の金銭管理等支援）を実施しているが、より判断能力が低下した認知症や精神障がい・知的障がい者の財産管理や暮らしをサポートする「成年後見制度」の普及のため、市や他職種との協働により、成年後見フォーラム、成年後見活用講座を昨年度同様に実施した。

また成年後見制度に関する相談窓口、市民後見人と協働した成年後見支援の実現のため、26年4月開設予定の成年後見センター（仮称）の受託にむけ、市や他職種と協議や本会職員の実務研修を行った。

■成年後見活用講座

【開催期日】平成25年5月28日～6月25日の毎週火曜日・全5回

【会場】総合福祉センター

【研修内容】「成年後見制度」「人権・権利擁護」「対象者の理解」「社会資源」など

【修了者数】14人

この成年後見センター（仮称）の受託に先駆け、家庭裁判所と協議し、1件の法人後見受任を行った。さらに厚生労働省社会福祉推進事業の補助事業である「法人後見のあり方に関する他職種との連携についての調査・研究」を実施、全国の成年後見事業実施社協へのアンケート調査及びインタビュー調査を行い、その結果を九州の社協職員を対象に研修会にて報告した。



■社協で支える成年後見研修会

【開催日】平成26年2月15日（土）

【会場】オオムタガーデンホテル

【研修内容】法人後見のあり方に関する他職種連携についての調査・研究報告会等

【参加者】90人

（5）社協広報の充実

①広報紙社協だより「きらり」の発行

年4回（4月・7月・10月・1月）、全世帯を対象に発行している社協福祉情報「きらり」を発行した。

②社協事務局通信「きらり」の発行

毎月1回、社協事務局通信「きらり」を発行し、タイムリーな情報を提供した。

③社協ホームページ（<http://www.omshakyo-kizuna.com/>）

社協の様々な活動・事業内容を紹介、また社協職員日記を毎日掲載した。

また、平成25年度より、居住支援協議会、共同募金等の取組みについてフェイスブックを立ち上げた。

【活動指針3】誰もがまちづくりに参加できる活動をすすめます！

(1) ボランティアセンターの充実強化

①ボランティア情報提供と啓発

地域において、ボランティアを必要とする人とボランティアをしたい人を結ぶために、登録団体名簿・ボランティアニーズ情報紙を用い、ボランティアが自分の希望する活動を選択できるよう、コーディネート機能の充実に努めた。

(ボランティアセンター登録状況)

	23年度	前年比(%)	24年度	前年比(%)	25年度	前年比(%)
グループ(団体)	35	67.3	51	145.7	61	119.6
個人(人)	16	26.2	29	181.3	24	82.8

②ボランティア活動保険加入について

地域行事やボランティア活動等を支援するため、ボランティア活動保険の加入受付を行った。

(ボランティア活動保険加入状況)

	23年度	前年比(%)	24年度	前年比(%)	25年度	前年比(%)
保険加入者数	2,911	103.2	1,289	44.3	1,018	79.0

③福祉入門講座HAPPYボランティア～知る・見つける・やってみる～

地域住民の福祉サービスに対する理解を深めるとともに新たな福祉人材の育成を目的として、久留米市社会福祉協議会の筑後地区福祉人材バンクより助成を得て、下記のとおり「福祉入門講座 HAPPY ボランティア」を開催した。

回	日時/会場	タイトル	講師	参加者
1	10月11日 19:00～21:00 イオンホール	ボランティアってな～に? ～ボランティアについて知ろう!～	NPO法人 日本ボランティアCO協会 理事 加留部 貴行 さん	34人
2	10月17日 13:30～15:30 総合福祉センター	～幸せになる～ 傾聴講座	NPO法人 日本ソーシャルコーチ協会 理事長 富岡 郁雄 さん	38人
3	10月21日 13:30～15:30 イオンホール	レクリエーションで楽しもう！	NPO法人 福岡県レクリエーション協会 理事長 添田 謙二 さん	57人
4	10月31日 13:30～15:30 イオンホール	私たち、こんなボランティアをやっています! ～ボランティア活動のやりがい～	キャロットサービス協力会員 サロンお世話役 等	61人
5	11月 6日 13:30～15:30 総合福祉センター	あなたにもできること あなたこそできること	東日本大震災 ～絆～プロジェクトおおむた 事務局 彌永 恵理 さん	34人

④タブレットデ^e楽しみ隊“タブレツ”活動状況

タブレットを活用したサロン等サポーター養成事業「タブレット DE 地域デビュー講座～人生に彩りを～」(24年度実施)後に立ちあがったボランティア団体「タブレット DE 楽しみ隊(愛称：タブレツ)」の地域での活動が始まった。

活動日	活動訪問先	対象者数	ボランティア
4月15日	絆けんこう教室	19人	4人
5月21日	サロン ハッピーふくし	15人	3人
6月16日	もの忘れ予防・相談検診 in 天の原小学校	34人	3人
8月 3日	上官いきいきサロン	14人	8人
9月25日	大牟田市在宅介護者の会	9人	5人

⑤セラピューティック・ケアによるボランティア養成講座

心のケアの一つとして、セラピューティック・ケア(服の上から手の温もりで優しく身体に触れ、身体と心を癒す療法(セラピー))をボランティアのスキルの一つとして取り入れ、地域のサロンや福祉施設等で活躍していただくボランティアの養成を図った。

【日 時】平成26年2月22日(土) 9:30~16:30

【場 所】大牟田市総合福祉センター

【受講者】24人

【講 師】NPO法人日本セラピューティック・ケア協会



セラピューティック・ケアによるボランティア養成講座

⑥災害ボランティアセンター設置

■災害ボランティアセンター養成研修

【日 時】平成25年4月27日(土)~28日(日)

【会 場】総合福祉センター

【講 師】NPO法人にいがた災害ボランティアセンター
理事・事務局長 李 仁鉄 さん
福岡県防災研究会 宮崎 雄輔 さん
NPO法人 ANGEL WING
理事長 藤澤 健児 さん

【内 容】<1日目> 参加者 50人

オリエンテーション・事務連絡

講義:(1) 災害救援の全体像

講義:(2) 災害時の支援活動と拠点整備

演習:(1) 被災者ニーズの理解と把握について

まとめ:今日の振り返り

<2日目> 参加者 40人

オリエンテーション・事務連絡

災害ボランティアセンター設置訓練

災害ボランティアセンター運営訓練

グループミーティング



災害ボランティアセンター養成1日目



災害ボランティアセンター養成2日目

■平成25年度福岡県総合防災訓練

(災害ボランティアセンター設置訓練及び福祉避難所受入訓練)

【日 時】 平成25年6月2日(日) 10:00~12:30

【会 場】 三川地区公民館

【参加者】 108人

(三川地区公民館へサテライト型の災害ボランティアセンター設置訓練)

(災害想定) 発災日：5月27日(月)

災害ボランティアセンター設置日：5月29日(水) 被害規模：中規模災害

被害場所：諏訪川の氾濫による水害

被害状況：床上浸水 150世帯、床下浸水 150世帯

※災害ボランティアセンター設置後、初めての日曜日なので多くのボランティアが押し寄せる予想される。

(総合福祉センターへ福祉避難所として要援護者受入れ訓練)

(災害想定) 天領小学校へ避難していた要援護者2人を福祉避難所(総合福祉センター)へ受入れ。要援護者を車で天領小学校体育館から総合福祉センターへ市職員が送迎。3階小規模デイサービス(えいり)で要援護者のバイタルチェック等を行った。

〈当日役割分担〉

役割分担	活動内容
災害ボランティアセンター長	行政との連絡調整・涉外・総括
災害ボランティアセンターチーフ	会議招集・進捗管理・全体調整
総務・救護班	関係部署との連絡調整(リーダー会議設定)、災害ボランティアセンター運営統制 衛生管理・車輛・資材確保・情報公開等・報道発表等
総合受付班	ボランティア希望者の受付、ニーズ受付、ボランティア保険受付、苦情対応
ニーズ班	ニーズ票確認、現地調査、地図作成
マッチング・グルーピング オリエンテーション班	支援活動のコーディネート、初回ボランティア活動の心得 マッチング後、グループリーダー決定、送り出し、活動報告受付
福祉避難所	避難所での共同生活が困難な方の受け入れ、バイタルチェック等



総合受付班



総務班



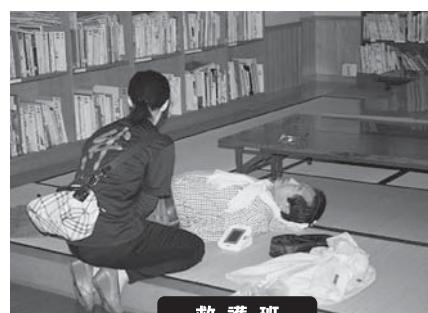
ニーズ班



マッチング・グルーピング班



オリエンテーション班



救護班

(2) 第5回大牟田市地域福祉大会～地域支えあい絆セミナー～

市民一人ひとりが自ら住んでいる地域に積極的に関わり、地域住民の「支えあいの“絆”」の創造に寄与することを目的に開催した。また、地域福祉の向上に貢献され、他の模範となる個人又は団体に対する表彰状の授与を行うことで活動者の行いを公に明らかにするとともにその功績を称えた。なお、平成25年度は大牟田善意銀行創立50周年の節目の年にあたることから善意銀行永年賛助会員を併せて表彰した。

【日 時】平成26年2月9日(日)

【場 所】大牟田文化会館 小ホール

【主 催】大牟田市地域福祉大会実行委員会

【参加者】400人

【内 容】

[第1部]大牟田市社会福祉協議会 功労者表彰

(表彰の部)

- 校区社協実践活動者・団体(12人)
- 優良校区社協(1校区)
- ボランティア活動団体(5団体)

(感謝の部)

- 校区社協実践活動者・団体(63人)
- ボランティア活動団体(2団体)
- 善意銀行高額寄付者・団体(3団体・14人)

善意銀行50周年特別枠

(表彰の部)

- 特別表彰(2団体)

(感謝の部)

- 特別感謝(3団体)
- 永年賛助会員(55人)

[第2部]大牟田善意銀行50年のあゆみ

大牟田北高生徒による「書道パフォーマンス」

[第3部]基調講演「できない」を「できる」に変える

～地域づくりは「あなた」が主役～

(講師) 東京農業大学教授

一般社団法人北海道活性化機構

代表理事 木村 俊昭さん



(3) 福祉教育の推進

小・中学校を対象として、福祉教育を推進し社会福祉への理解と関心を高めるとともに、ボランティア活動と地域福祉活動への参加促進を図った。

①福祉教育教材貸出状況

福祉教育に用いてもらうため、小・中学校や高校、事業所に高齢者疑似体験セット・

車椅子・アイマスク・白杖・ビデオ等を貸し出した。

区分	ビデオ・DVD(本)	疑似体験(セット)	白杖(本)	アイマスク(枚)	車椅子(台)
小学校	11	29	35	44	13
中学校	6	24	32	33	22
高等学校		6			
その他		12			
合計	17	71	67	77	35

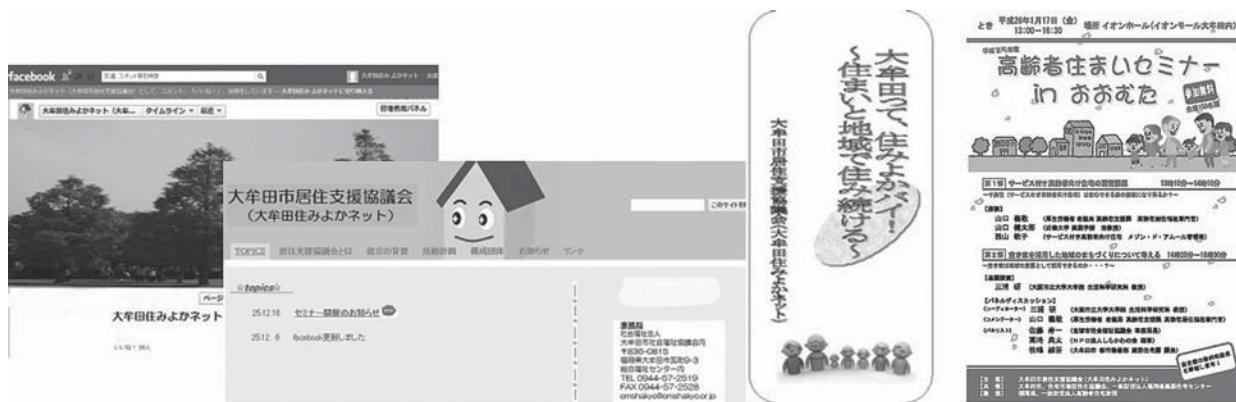
②講師派遣状況

児童・生徒の福祉教育の推進を目的とし、視覚・聴覚障がい者の人などを講師(ゲストティーチャー)を派遣。また点字指導には点訳奉仕大牟田むつき会の協力を得た。

	23年度	前年比(%)	24年度	前年比(%)	25年度	前年比(%)
派遣件数	34	106.3	25	73.5	19	76.0

(4)居住支援協議会活動支援事業(国庫補助事業)

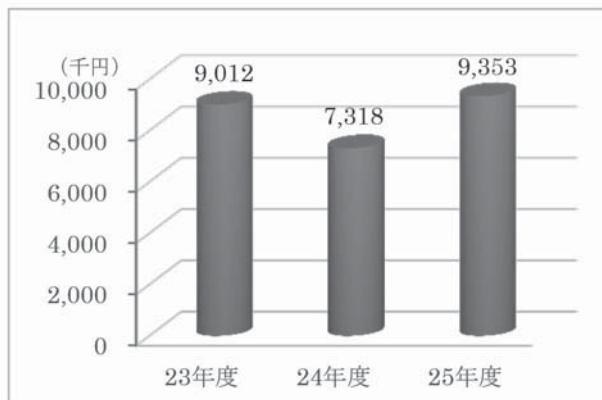
高齢者や障がい者などの住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への円滑な入居を促し、空き家を活用しながら安心して居住できる仕組みづくりを行うことを目的に、不動産・福祉・医療・行政等の各団体と連携し、平成25年6月に居住支援協議会を設立した。平成25年度は、民生委員・児童委員協議会の協力を得て、市内にある空き家の実態調査を実施し、2,853戸の空き家に対して外観調査を行った。また、先進地の視察及びモデル事業実施に向けた研究、セミナー開催やホームページ・フェイスブック開設による協議会の周知及び啓発活動を行った。



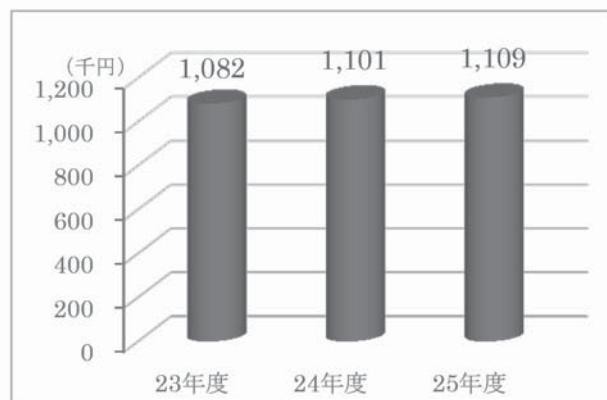
～社協基盤強化のための様々な取組みについて～

(1) 大牟田善意銀行預託状況

一般寄付金の3カ年の推移



賛助会員会費の3カ年の推移



(寄付金等預託状況)

		23年度	前年比(%)	24年度	前年比(%)	25年度	前年比(%)
一般寄付金	件数(件)	462	100.7	408	88.3	373	91.4
	金額(円)	9,011,791	112.0	7,317,789	81.2	9,352,547	127.8
物品寄贈件数		21	131.3	21	100	19	90.5

(賛助会員数等の推移)

	23年度	前年比(%)	24年度	前年比(%)	25年度	前年比(%)
会員数 (個人・団体)	426	90.1	403	94.6	405	100.5
金額(円)	1,081,500	105.6	1,101,000	101.8	1,109,000	100.7

(2) 市立病院ほっとスペースの運営

市立病院内施設の再編に伴い、平成25年より大牟田市立病院2階に、コンビニエンスストア機能と食事処の機能をあわせもつ、くつろぎ空間ほっとスペースを開設し、1月に1周年を迎えた。

①市立病院ホスピタルローソン

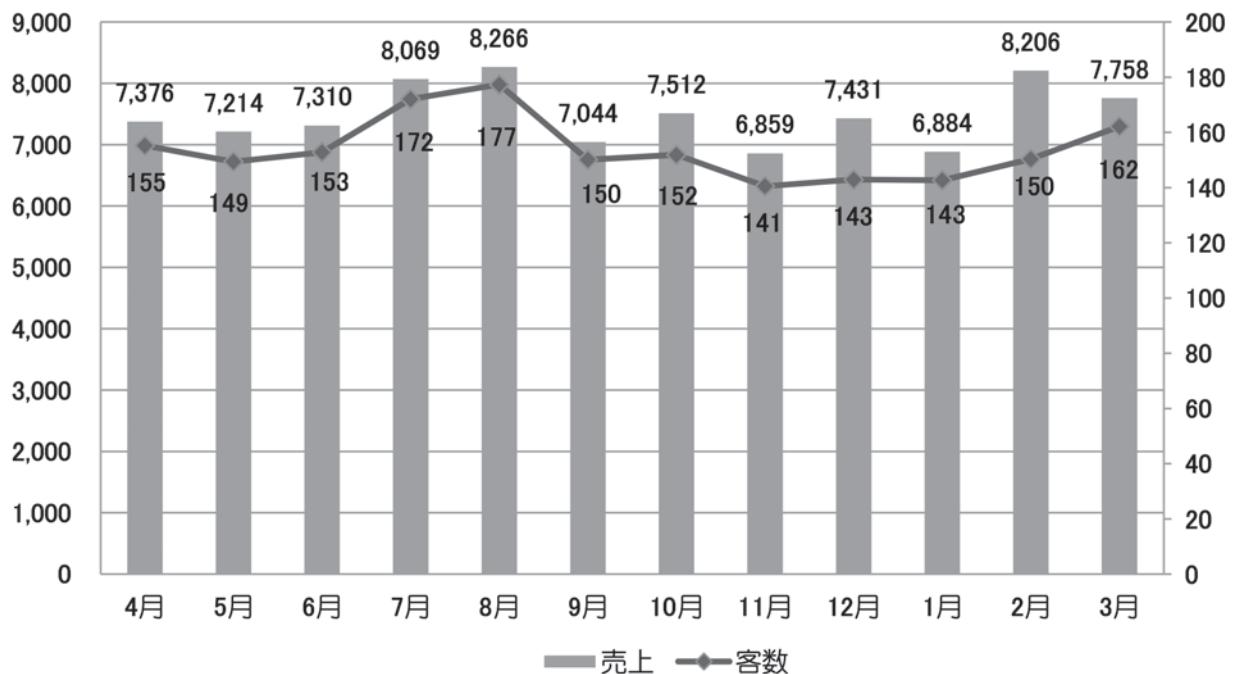
オープン時より取り組んでいるポンタ会員数を増やす取組みの他、7月より挽きたて淹れ立てのコーヒーを提供するマチカフェを導入し、固定客の獲得に努めた。その

他、恵方巻きやクリスマスケーキ等の季節商品や、母の日ギフトなどの店舗外営業にも力をいれた。1周年の際には、マチカフェ試飲会の他、購入者へのマチカフェチケットプレゼント等のイベントを実施した。

市立病院ホスピタルローソン店内



ホスピタルローソン売上と客数の推移



(営業実績)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
売上 (円)	7,376,170	7,213,522	7,310,387	8,069,177	8,266,104	7,044,356	
客数 (人)	15,522	14,940	15,281	17,207	17,735	15,008	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
売上 (円)	7,512,096	6,859,161	7,430,589	6,883,520	8,205,641	7,758,412	89,929,135
客数 (人)	15,186	14,051	14,291	14,266	15,034	16,218	184,739

②食事処ほっとリビング

食の安全第一をモットーに、家庭料理の手作り感を大切にした「日替りヘルシーランチ」と「日替わり具だくさんスープ」の他、モーニングセット等を提供。外来者や病院職員等に広く支持され、売上を大きく伸ばした。また、本会の特性を生かした“プラス1サービス”として、タオル帽子講座や野菜についての講座などを開催した。

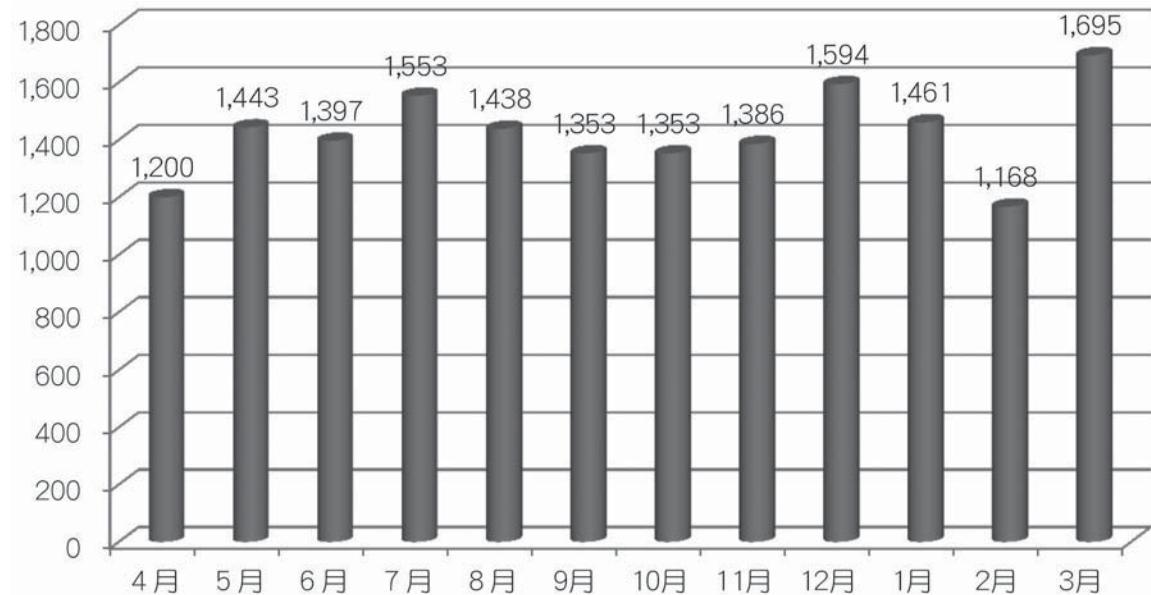
カロリー・塩分を表示した日替わりヘルシーランチ



プラス1サービス（タオル帽子講座）



ほっとリビング収入の推移（食事処営業収入・その他営業収入・手数料収入）



(営業実績)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
食事処ほっとリビング 営業収入(円)	749,900	843,400	884,900	942,100	904,000	835,000	
その他営業収入(円) (ゴミ袋・切手等)	187,400	326,100	256,740	366,981	259,925	276,565	
手数料収入(円) (自動販売機等)	263,036	273,584	255,160	244,326	274,395	241,254	
合計(円)	1,200,336	1,443,084	1,396,800	1,553,407	1,438,320	1,352,819	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
食事処ほっとリビング 営業収入(円)	877,600	860,100	873,700	774,500	811,700	955,300	10,312,200
その他営業収入(円) (ゴミ袋・切手等)	248,605	303,895	450,075	409,625	137,770	473,634	3,697,315
手数料収入(円) (自動販売機等)	226,758	221,627	269,759	276,792	218,145	265,669	3,030,505
合計(円)	1,352,963	1,385,622	1,594,034	1,460,917	1,167,615	1,694,603	17,040,020

(3)総合福祉センターの運営

①総合福祉センター利用状況

	23年度	前年比(%)	24年度	前年比(%)	25年度	前年比(%)
会場使用料収入(円) ①	2,234,412	99.5	1,945,530	87	2,060,817	105.9
ヘルストロン利用収入(円) ②	1,425,000	103.1	1,512,200	106.1	1,381,400	91.4
賃貸料収入(円) ③	2,030,413	107.7	1,180,496	58.1	5,316,142	450.3
手数料収入(円) ④	328,142	102.6	329,704	100.4	305,860	92.8
利用収入計(円) (①+②+③+④)	6,017,967	103.2	4,967,930	82.5	9,064,219	182.4

※平成25年度は「小規模デイサービスふれあい処えいる」を追加したため大幅増額となった。

②絆けんこう教室

総合福祉センター利用者や近隣の地域住民を対象に、毎週月曜日、午前11時から多目的ルームで「絆けんこう教室」を開催した。

毎回、多彩な講師（ボランティア）を招いて、「絆けんこう教室」を実施し、年間で延348人が参加した。



(参加者数：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	47	30	31	40	20	17	30	25	22	31	34	21	348

③総合消防訓練

平成26年2月20日木曜日の午後、利用者がいる時間帯に、ボランティア連絡協議会と合同で、総合消防訓練を実施した。「喫茶すずらん」より出火したという想定で、社協職員は自衛消防隊をはじめとし、それぞれの役割分担（初期消火班・避難誘導班・非常持出班・救助班）に分かれ、センター利用者を西側非常階段より駐車場へ避難させた。また、逃げ遅れた人を想定し、3階ベランダからの「はしご車」による救出及びけむり体験も行った。

避難訓練後、水消火器の実演や「建物火災」に関する講習も行われ、総勢約60人の参加のもと有意義な消防訓練を行うことができた。



けむり体験テントの様子



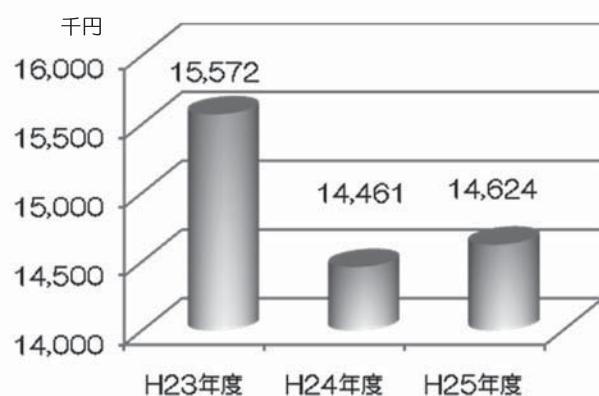
はしご車での救出訓練の様子

(4)共同募金運動の取組み

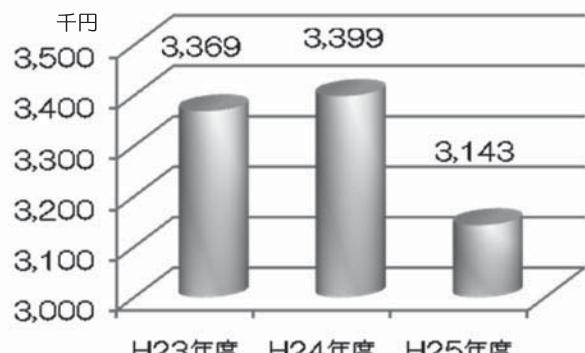
赤い羽根共同募金及び歳末たすけあい募金運動について、福岡県共同募金会大牟田市支会と連携して取り組んだ。

①赤い羽根共同募金および歳末たすけあい募金実績

赤い羽根共同募金実績3カ年の推移



歳末たすけあい募金実績3カ年の推移



(単位：円)

	23年度	前年比(%)	24年度	前年比(%)	25年度	前年比(%)
赤い羽根共同募金	15,572,036	98.4	1,4461,125	92.9	14,624,240	101.1
歳末たすけあい募金	3,368,966	91.7	3,399,353	100.9	3,142,692	92.4

②寄付つき商品の企画・販売

年々減少していく募金実績を新しい角度から歯止めをかけようと、本年度から新しく「赤い羽根共同募金寄付つき商品」の企画・開発に『募金百貨店プロジェクト』として取り組んだ。11月、「コーヒーサロンはら」での寄付つき商品の販売を皮切りに、12月には移動商店街「よかもん商店街」加盟18店との合同調印、1月には大牟田市中心地区商店街連絡協議会加盟10店との合同調印を行うなど、25年度末までに33の企業と契約した。福岡県全体の寄付つき商品の契約企業は25年度末で45企業。大牟田市の33という数字はその大半を占めるものとなった。



募金百貨店ロゴマーク



募金百貨店おおむた
パンフレット



よかもん商店街との
合同調印式

③共同募金会大牟田市支会フェイスブックページの開設

寄付つき商品の開発にともない、フェイスブックページを開設した。寄付つき商品の紹介のほか、赤い羽根自販機の紹介、イベント情報の発信など、共同募金に関するさまざまな広報活動を行った。

④赤い羽根自販機の設置推進

自動販売機で飲料を購入すると、売上げの一部が赤い羽根共同募金に寄付される「赤い羽根自販機」の増設に取り組んだ。本年度は電気化学工業株式会社大牟田工場の28台を含む31台を増設。25年度末の時点で市内19カ所、48台の設置台数となり、福岡県内の市町村で最多となった。



電気化学工業大牟田工場
感謝状贈呈式



帝京大学新キャンパス
バス停前設置自販機

⑤法人募金

赤い羽根共同募金は、市内の事業所や学校を対象に計 164 か所、歳末たすけあい募金は 115 か所で募金活動を行った。さらに 4 校区については、新規募金協力先として校区の医療機関を訪問。22 か所から募金をいただいた。



募金百貨店参加店に
設置されている募金箱

⑥募金箱の設置

市内の事業所などを中心に募金箱の設置依頼を行なった。
寄付つき商品の協力店には全て設置した。

⑦街頭募金

10月1日の赤い羽根共同募金運動開始日、12月1日の歳末たすけあい募金開始日に、市内の駅や商業施設において街頭キャンペーンを行った。また10月から12月にかけての運動期間中は、学校やボランティア団体による街頭募金が実施された。



⑧共同募金の広報

全戸配布の社協だより「きらり」にて、共同募金の特集を掲載した。また、10月から12月の運動期間中、事務局職員は全員法被を着用するなど、共同募金の周知啓発に努めた。

⑨イベントの開催と共同募金の啓発



ありがとうメッセージ
(絆フェスティバル)

9月、赤い羽根共同募金の普及、啓発を目的に、「第4回赤い羽根共同募金グラウンドゴルフ大会社協“絆”フェスティバル」を開催。市内 22 校区を対象に「赤い羽根共同募金杯校区対抗グラウンドゴルフ大会」を開催すると同時に、イベントスペースでは「赤い羽根ガラポンくじ」や「共同募金〇×クイズ」などのほか、「ありがとうメッセ

ージ」として、募金を受け取っている団体が直接感謝の気持ちを伝える場をつくった。

また、幅広い年齢層への啓発に、若者を中心に入気の「初音ミク」のポスターや資材を導入。11月にはイオンモールにおいて「初音ミクパネル展」を開催した。



初音ミクパネル展
(イオンモール)

⑩配分金使途の透明化

各団体からの助成申請を配分委員会で審査し配分すること、全世帯配布の社協だより「きらり」へ、集まった募金の使いみちを掲載すること、各報道機関へ情報提供を行うことなどにより、配分金使途の透明化を図った。25年度共同募金配分委員会では、福祉団体等の配分申請に基づき、14の学校、13の福祉団体等へ26年度事業費として、総額360万4090円の配分が決定した。

(配分決定額)

団体名	事業名	配交付額(案)
【福祉教育推進校】		
1 誠修高等学校	「ボランティアエステ」(ハンドセラピー)	30,000円
2 延命中学校	総合的な学習の時間「学びの旅」	30,000円
3 白光中学校	福祉教育推進事業	24,070円
4 歴木中学校	福祉体験活動	24,000円
5 駿馬南小学校	福祉教育推進事業	20,500円
6 駿馬北小学校	福祉教育推進事業	48,770円
7 大牟田小学校	地域の高齢者とともに	5,000円
8 平原小学校	児童への福祉教育(高齢者との交流)	35,000円
9 羽山台小学校	高齢者・障害者との交流を通した福祉教育	30,000円
10 三池小学校	福祉教育推進事業	37,000円
11 吉野小学校	福祉教育推進事業	33,000円
12 倉永小学校	高齢者・障害者交流、疑似体験	35,000円
13 手鎌小学校	地域ボランティアの活性化	36,000円
14 玉川小学校	「体験からの学び」を大切にする福祉教育の推進	50,000円
(福祉教育推移事業 合計		438,340円)
【福祉団体及びNPO法人等】		
1 老人クラブ連合会	教養事業費	155,000円
2 民生委員・児童委員協議会	各種研修事業費	465,000円
3 身体障害者福祉連合会	社会参加促進事業	250,000円
4 母子寡婦福祉会	母と子のふれあい事業	100,000円
5 サンアビ祭実行委員会	パラリン&サンアビ祭り	100,000円
6 ボランティア連絡協議会	情報交換の場づくり	80,000円
7 大牟田朗読の会	朗読・情報発信に関する研修会	50,000円
8 要約筆記のぞみの会	難聴者の交流の場づくり	45,000円
9 大牟田むつき会	視力障害者のための点訳奉仕	45,000円
10 おおむた手話の会ありあけ	「1日研修会」	45,000円
11 心をつなぐ会	知的障害児・者の医療の充実と啓発	240,000円
12 倉永生活循環バス運営協議会	生活循環バス事業	148,000円
13 インスパイア (地域ボランティア推進チーム)	皆の出来る発掘プロジェクト ~まちの課題からまちの未来へ~」	130,000円
14 大牟田市社会福祉協議会	大牟田市社協の行う地域福祉事業全般	1,312,750円
(福祉団体等 合計		3,165,750円)
総合計		3,604,090円

⑪第4回赤い羽根共同募金校区対抗グラウンドゴルフ大会 &社協“絆”フェスティバルの開催

【日 時】平成25年9月14日（土）10時00分～15時00分

【会 場】諏訪公園 文化交流ゾーン イベント広場

【参加者】約2,000人

【後 援】大牟田市、大牟田市民生委員・児童委員協議会

【協 賛】コカコーラウエスト（株）、サントリービバレッジサービス（株）

赤い羽根共同募金運動の普及啓発及び地域住民の絆を深めることを目的に開催。

校区対抗グラウンドゴルフ大会、飲食コーナーやプレーパーク（子育てきらりフェスタ Vol.15）、フリーマーケット、共同募金○×クイズなど、様々なイベントを催した。

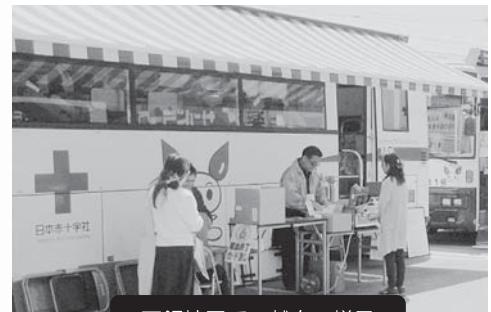
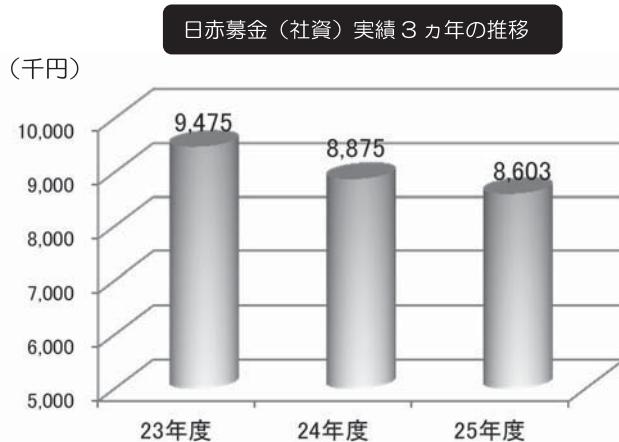


(5) 日本赤十字大牟田市地区業務の取組み（市受託事業）

①日赤募金（社資）実績の推移

(単位：円)

	23年度	前年比(%)	24年度	前年比(%)	25年度	前年比(%)
日赤募金（一般社資）	9,249,787	101.5	8,629,984	93.2	8,358,489	96.9
日赤募金（法人社資）	225,000	81.2	245,000	108.9	245,000	100.0
計	9,474,787	100.9	8,874,984	93.7	8,603,489	96.9



天領校区での献血の様子

②平成25年度大牟田市の献血実績について

(単位：人)

区分	受付者	献血者	不適
地域（校区 22回 ライオンズクラブ 3回 青年会議所 2回）	2,580	1,989	591
職域別（29回）	1,621	1,350	271
学域別（7回）	609	485	124
街頭（イオンモール大牟田 11回）	982	798	184
合計	5,792	4,622	1,170

③献血啓発講演会等の開催

輸血用の血液の約38%はがんの治療に使われており献血集めた血液の多くはがん患者にとって必要不可欠なものである。また化学療法を受けた多くのがん患者が、吐き気や脱毛などの身体的苦痛や精神的苦痛を抱えている。7月の「愛の血液たすけあい月間」時に太刀洗町在住の末次由美さんを講師に招き、がん患者のおかれた状況の理解とともに献血啓発の講演会を開催した。また、末次さんが取組んでいるがん患者へ贈る手作りのタオル帽子の取り組みを大牟田に広げるためにタオル帽子製作講座を開催した。



講座「タオル帽子を作ろう」

月日	講演会・講座	受講者数	講師	
平成25年7月17日(水)	講演会「乳がんから学んだ生きる力の大切さ」	30名	末次由美さん	イオンホール
平成25年7月18日(木)	講座「タオル帽子を作ろう」	30名	末次由美さん	総合福祉センター
平成25年12月8日(日)	講座「クリスマスまでに作るタオル帽子」	10名	社協職員	市立病院ほっとプラス
平成26年3月20日(木)	講座「タオル帽子ボランティア養成講座」	32名	布れんずクラブ	総合福祉センター

④火災等の被災者への対応

市内の住居の火災被災者に対して調査のうえに日本赤十字社救援物資（毛布等の災害見舞い品）を支給した。また被災により緊急に住居を必要とされる世帯には、市営住宅の紹介を行った。

（平成 25 年度日赤救援物資配布件数）

	世帯数	世帯人数	布団	毛布	医薬品セット	緊急セット	タオルセット	備考
全 燃	2	6	4	6	2	2	4	
半 燃 (水損により全焼扱)	1	2	1	2	1	1	2	
半 燃	1	2	0	0	0	0	0	辞退
合 計	4	10	5	8	3	3	6	

（6）各種寄贈及び助成について

平成 25 年 8 月、福岡県宅地建物取引業協会・県南支部様より福祉車両の寄贈を受けた。

福岡県宅地建物取引業協会
県南支部より軽車両を寄贈



（7）職員研修の取組み

①全職員研修

月 日	テーマ	講 師
4月27日 28日	災害ボランティアセンター コーディネーター養成研修	NPO法人にいがた 災害ボランティアネットワーク 理事・事務局長 李 仁鉄さんほか2名
6月28日	平成 25 年度事業計画・予算について	社協全職員
7月 18 日	社協マン…あなたは地域の「魔法人」	さわやか福祉財団 ふれあい推進事業 プロジェクトリーダー 木原 進さん
8月28日	夢や想いを実現させる 組織のあり方について	特定非営利活動法人 地域たすけあいの会 事務局長 田中将太さん
9月 26 日	赤い羽根共同募金運動について	社協職員 武末三和子
10月 24 日	「伝わる」文書の書き方	社協職員 平塚充昭
11月 28 日	タブレットの活用方法について	アクアマリン 高岡瑞樹さん
12月 20 日	ともに支えあいみんなで創るまちづくり	社会福祉法人ゆうゆう 理事長 大原祐介さん
1月 24 日	東日本大震災復興支援について	社協職員 彌永恵理
2月 27 日	救命救急講習 (心肺蘇生法及び AED 操作方法等)	大牟田市消防本部 職員

②ホームヘルパー研修

日 程	講 師	研 修 内 容	参加者
4月 17日	大牟田市社会福祉協議会 内田勉、吉山尚吾、岩屋順子	大牟田市社会福祉協議会の概要	28人
5月 15日	大牟田市社会福祉協議会 坂井きみか、小林節子、中島千鶴	身体介護、移動・移乗介護実技研修	28人
6月 19日	大牟田市地域包括支援センター 宮田真由美さん	高齢者の特徴と対応について ～熱中症と食中毒～	32人
7月 17日	大牟田市社会福祉協議会 馬場朋文	個人情報の取扱い、守秘義務	25人
8月 21日	大牟田市認知症ライフサポート研究会 竜円誠さん	認知症について ～介護者の対処方法～	32人
9月 18日	ケース検討会①		25人
10月 16日	ケース検討会②		27人
11月 20日	大牟田市長寿社会推進課 内山勝司さん	地域包括支援センターについて	31人
12月 18日	障害者相談支援事業所 あじさい 猿渡千春さん	精神障害者を理解するために	29人
1月 16日	南大牟田病院リハビリテーション科 高岡正晴さん	ボディメカニクスについて ～安全な移乗動作～	37人
2月 20日	大牟田市社会福祉協議会 馬場朋文	障害福祉サービス利用制度や手続き について	30人
3月 21日	大牟田市社会福祉協議会 馬場朋文	新しい介護予防事業の国と考え方 について	30人

(8) 東日本大震災復興支援活動について

①絆プロジェクト スタッフ派遣

派 遣 期 間	活 動 内 容
4月 17日～4月 20日	南三陸町：すばらしい歌津をつくる協議会定例会 平成25年度支援活動スケジュール等の確認 その他訪問先：Yeos工房・のぞみ・風の里・平成の森・あがらいん 雄勝診療所
6月 29日～6月 30日	*仙台：復興支援活動総括報告会
8月 16日～8月 19日	松島町：松島観光協会 南三陸町：すばらしい歌津をつくる協議会定例会 その他訪問先：Yeos工房・のぞみ・風の里・平成の森・あがらいん 石巻市大須小学校仮設 福幸オリジナル商品製作進捗状況確認他
9月 4日～9月 6日	石巻市：雄勝診療所・あがらいん 南三陸町：慶明丸・神割崎ほか 星野民藝社の防災テーブル寄贈コーディネイトほか
10月 7日～10月 9日	*「大牟田中学校被災地訪問研修」同行 南三陸町・気仙沼市・陸前高田市・石巻市
10月 17日～10月 19日	南三陸町：すばらしい歌津をつくる協議会定例会 竹灯籠プロジェクト概要説明 *「大牟田市吉野のお神輿寄贈」コーディネイトおよび視察同行 南三陸町・松島町
11月 29日～11月 30日	*「おかえりなさい 竹灯籠プロジェクト」コーディネイト、下見 南三陸町歌津

12月21日～12月24日	*「おかげりなさい 竹灯籠プロジェクト」コーディネイト、設置 南三陸町歌津
1月31日～2月2日	*「おかげりなさい 竹灯籠プロジェクト」コーディネイト、撤去 南三陸町歌津
2月17日～2月18日	南三陸町：すばらしい歌津をつくる協議会定例会 平成25年度支援活動総括報告
3月18日～3月19日	*東京：広域避難者支援ミーティング全国大会

②絆プロジェクト 活動経過

日 程	打 合 せ 及 び 研 修 会 内 容
4月 4日	お神輿寄付に関する事前説明・研修（吉野まちづくり委員会）
4月 5日	復興支援活動報告・平和学習会（そよかぜ学童保育所）
6月 6日	復興支援活動報告・研修（筑後市社協新人職員）
6月10日	復興支援活動報告会（市民グループ）
6月14日	お神輿寄付に関する事前説明・研修（吉野まちづくり委員会）
7月 3日	お神輿寄付に関する事前説明・研修（吉野まちづくり委員会）
7月11日	復興支援活動報告・福祉学習会（誠修高校） 復興支援活動報告（共同募金・ボラサポサロン：博多区）
7月24日	復興支援活動報告会（おおむたコスモスの会）
7月30日	復興支援活動総括紙面座談会（福岡県共助社会づくりモデル事業総括：福岡市）
8月 6日	復興支援活動報告・平和学習会（勝立中学校）
8月 8日	復興支援活動報告・ふくし学習会（夏 ふれ愛子どもふくし塾）
8月24日	復興支援活動報告・平和学習会（手鎌学童保育所・大牟田学童保育所）
9月 7日	復興支援活動報告・防災学習会（駿馬地区公民館 チャレンジde防災）
9月 9日	お神輿寄付に関する事前説明・研修（吉野まちづくり委員会）
9月14日	復興支援活動報告・商品販売（絆フェスティバル）
9月19日	復興支援活動報告・福祉学習会（中友校区こども民生委員）
9月27日	被災地研修旅行に関する事前説明（大牟田中学校）
10月 2日	お神輿送り出しと広報（吉野まちづくり委員会） 被災地研修旅行に関する事前研修（大牟田中学校）
10月13日	復興支援活動報告・商品販売（全国小規模多機能型居住介護事業者連絡会九州ブロック大会）
10月19・20日	復興支援活動報告・商品販売（九州クリエイターズマーケット：筑後市）
10月24日	復興支援活動報告・研修（大牟田市公立小中学校退職校長会）
11月 6日	復興支援活動報告・研修（happy ボランティア講座）
11月 10日	復興支援活動報告・商品販売(福岡県GH協会あつたかコンサート：福岡市)
11月16・17日	復興支援活動報告・商品販売(大牟田ガス展) (築町フェア) (vient コンサート)
11月29日	Ochacco（お茶っこ） in おおむた プレオープン
12月 1日	復興支援活動報告・商品販売(手話の会40周年記念大会)
12月 2日	竹灯籠設置に関する事前説明・研修（三池光竹実行委員会）
12月 6日	福幸支援活動報告・支援啓発イベント打ち合わせ(福岡広域避難者支援市民ネットワーク)
12月18日	ochacco in おおむた①
1月10日	復興支援活動報告・研修（はやめ地区公民館）
1月19日	ochacco in おおむた②
1月21日	復興支援活動報告・研修（tomotomo カフェ）
1月22日	ochacco in おおむた③
2月 9日	復興支援活動報告・商品販売(地域福祉大会) ochacco in おおむた④
2月19日	ochacco in おおむた⑤
2月26日	復興支援活動報告・研修(サロンひばりが丘)
2月27日	復興支援活動報告・研修(玉川校区民児協)

2月 27日	復興支援活動報告・研修(大牟田市社会福祉協議会)
2月 28日	復興支援活動報告・福祉学習会(大牟田中学校)
3月 8日	復興支援活動報告・研修(市政参画推進ネットワーク プラネットおおむた公開講座)
3月 9日	復興支援活動報告・商品販売(Do for Japan)
3月 11日	「3・11あの日を忘れない 映画上映会」(大牟田文化会館)
3月 12日	ochacco in おおむた⑥
3月 26日	ochacco in おおむた⑦
3月 28日	復興支援活動報告・研修(大牟田市社会福祉協議会)

③絆プロジェクト活動支援金状況 (H26.3.31 現在)

支援金総額：1,049,600 円（延50件）



④絆プロジェクト福幸商品売上状況 (H26.3.31 現在)

売上総額：2,827,460 円



福幸商品



駢馬地区公民館：チャレンジde防災



お神輿寄付（吉野まちづくり委員会）

(9)福祉バス等貸出事業

福祉団体等の福祉増進のため、各種大会や研修会等の参加に際して福祉バスを運行した。また、福祉行事のための荷物等を運搬する軽トラックの貸出も実施した。

	23年度		24年度		25年度	
	利用回数	利用者数	利用回数	利用者数	利用回数	利用者数
福祉バス利用状況	77	1,851	98	3,331	77	2,808
軽トラック利用状況	6		6		3	

(10)他都市よりの視察状況

月　日	視察受入	研修内容
6月 26日	糸島市波多江校区社協	駢馬南校区社協活動について
6月 27日	柳川市豊原地区社協	天の原校区社協活動について
7月 26日	鞍手町自治公民館	小地域ネットワーク活動について
11月 6日	宗像市自由が丘地区福祉会	天の原校区社協活動について
11月 6日	佐賀市校区社協会長会	小地域ネットワーク活動について
11月 13日	武雄市西川登地区協議会	校区社協活動について
12月 4日	筑後市社協	社協活動概要について
12月 26日	中間市社協	社協活動概要について
2月 26日	大野城市民児協役員	駢馬南校区社協活動について
3月 7日	久留米市金丸校区社協	駢馬南校区社協活動について
3月 10日	久留米市西国分校区社協	子ども民生委員の取組みについて
3月 27日	荒尾市社協	社協活動概要について

～各種会議・各種委員会報告～

(1) 理事会開催状況

会議名	月日	内容
第1回理事会	5月21日（火）	・議案第1号…平成24年度事業報告について ・議案第2号…平成24年度収支決算について ・議案第3号…就業規則及び給与規程の新規制定及び廃止（案）について
第2回理事会	7月9日（火）	・議案第4号…補欠評議員の同意について ・議案第5号…大牟田市社会福祉協議会定款の一部変更（案）について ・議案第6号…平成25年度一般会計補正予算（案）について
第3回理事会	10月23日（水）	・議案第7号…歴木保育所隣接用地確保に伴う不動産取得（案）について ・議案第8号…大牟田市社会福祉協議会定款の一部変更（案）について ・議案第9号…平成25年度一般会計補正予算（案）について
第4回理事会	12月13日（金）	・報告（1）平成25年度上半期事業報告について ・報告（2）まちなか生活福祉型拠点（仮称）「築町えいる」について
第5回理事会	2月19日（水）	・議案第10号…平成25年度社会福祉法人指導監査の結果について ・議案第11号…補欠評議員の同意について ・議案第12号…平成25年一般会計補正予算（案）及び特別会計補正予算（案）について ・議案第13号…平成26年度新規事業（案）について
第6回理事会	3月26日（水）	・議案第14号…平成26年度事業計画（案）について ・議案第15号…平成26年度資金収支予算（案）について ・議案第16号…評議員の同意について ・議案第17号…規則及び規程の改正（案）について ・議案第18号…歴木保育所児童福祉施設（床面積）変更（案）について

(2) 評議員会開催状況

会議名	月日	内容
第1回評議員会	5月21日（火）	・議案第1号…平成24年度事業報告について ・議案第2号…平成24年度収支決算について
第2回評議員会	7月9日（火）	・議案第3号…補欠理事の選任について ・議案第4号…大牟田市社会福祉協議会定款の一部変更（案）について ・議案第5号…平成25年度一般会計補正予算（案）について
第3回評議員会	10月23日（水）	・議案第6号…歴木保育所隣接用地確保に伴う不動産取得（案）について ・議案第7号…大牟田市社会福祉協議会定款の一部変更（案）について ・議案第8号…平成25年度一般会計補正予算（案）について
第4回評議員会	2月19日（水）	・議案第9号…平成25年度一般会計補正予算（案）及び特別会計補正予算（案）について ・議案第10号…平成26年度新規事業（案）について
第5回評議員会	3月26日（水）	・議案第11号…平成26年度事業計画（案）について ・議案第12号…平成26年度資金収支予算（案）について ・議案第13号…理事の選任について ・議案第14号…監事の選任について ・議案第15号…規則及び規程の改正（案）について

(3) 各部会・委員会開催状況

会議名	月日	内容
表彰審査委員会	11月27日（水）	・平成25年度大牟田市社会福祉協議会表彰審査
第1回総務部会	3月18日（火）	・平成26年度事業計画・資金収支予算（案）について ・規則及び規程の改正について ・歴木保育所児童福祉施設（床面積）変更（案）について

～平成25年度 役員、評議員名簿～

[理事・監事]

選出区分	氏 名	備 考
学識経験者	西 村 直	会 長
校区社協代表	家 入 進	副 会 長
民生委員・児童委員代表	阿 津 坂 正 晴	//
学識経験者	大 戸 誠 興	常務理事
町内公民館連協代表	月 野 貞 信	理事 (H25.7.8 辞任)
//	芳 川 勝	理事 (H25.7.9 就任)
社会福祉事業施設代表	井 田 謙	理事
福祉団体代表	大 場 和 正	//
ボランティア団体代表	杉 野 有 美 子	//
社会福祉関係公務員代表	中 尾 清 志	//
市議会代表	吉 田 康 孝	//
学識経験者	和 田 要	//
//	鳥 越 文 明	監 事
//	西 山 明	//

[評議員]

選出区分	氏 名	備 考
校区社協代表	汐 待 律 子	
//	三 浦 紀 子	
//	杉 本 繁	
//	塩 塚 國 凱	
//	吉 田 正 繼	
//	猿 渡 英 昭	
民生委員・児童委員代表	湯 本 幹 男	H25.11.30 辞任
//	藤 井 将 也	H26.2.19 就任
//	奥 薩 繁 俊	
町内公民館連協代表	萬 矢 勝 保	
ボランティア団体代表	田 中 百 合 子	
NPO 法人代表	平 田 聖 子	
社会福祉事業施設代表	圓 文 昭	
//	石 井 竹 彦	
福祉団体代表	糸 原 正 則	
//	西 河 マス 子	
//	谷 川 老 子	

選出区分	氏名	備考
社会福祉関係公務員代表	堤 隆明	
市議会代表	森 竜子	H25.7.8 辞任
//	田中正繁	H25.7.9 就任
学識経験者	中尾哲郎	
//	杉 健三	
//	福田 猛	
//	奥園 征裕	
//	大塚力久	